

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

クリアブロックと色水ボトルで光を感じる (1歳児クラス)

<テーマの設定理由>

①テーマの設定に活かした園の環境や強み

昨年度も「光」をテーマし身近な光に触れてきたため、さらに遊びを広げたい。

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

幼児クラスの子どもがライトテーブルで光遊びをする姿に1歳児クラスの子どもたちが興味津々になっていた。

## 2. 活動スケジュール

令和7年4月～令和7年10月(年7回実施)

1歳児10名

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ライトテーブル 1台
- ・クリアブロック 1箱
- ・色水ボトル 様々な色10本

保育室内にライトテーブルを設置する。子どもたちが興味をもったタイミングで、ライトテーブルの上にクリアブロックや色水ボトルを置いて遊びにつなげる。

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

まずは保育室内にライトテーブルを置き、子どもたちが興味をもったタイミングで、クリアブロックや色水ボトルをライトテーブルの上に置く。じっくりと光と触れ合えるように、2～3人の少人数で行う。保育者は、子どもたちが玩具に手を伸ばす様子を見守り、「きれいだね」「光っているね」など見たものに共感する。

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・クリアブロックに手を伸ばし、興味をもつ。ブロックをじっくりと見つめ、玩具越しに光を感じている様子が見られた。

・色水ボトルにラメが入っているものを、保育者が上下に揺らしてみせると、「わあ～」と声を出して嬉しそうに眺める姿があった。保育者の隣にいた子は、保育者の真似をして色水ボトルを上下に振って嬉しそうにしていた。



## 5. 振り返り

・普段から遊び慣れている身近な玩具を取り入れたことで、安心してライトテーブルの光遊びに取り組むことができた。

・危険のないよう、ライトテーブルの周りにコーナーガードをつけるなどして安全に遊べるようにする。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

鏡に興味をもち、触ったり光を感じたりする。

<テーマの設定理由>

①テーマの設定に活かした園の環境や強み

日当たりのよい保育室で、乳児クラスの子どもたちにも光を身近に感じてほしい。

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

鏡に興味をもつ年齢のため、光と鏡を組み合わせた活動を取り入れたいと思った。

## 2. 活動スケジュール

令和7年8月～令和8年1月(年5回実施)

・0歳児クラス 6名

・子どもが興味をもったタイミングで光の活動に参加できるように、少人数に分けて光の遊びを子どもたちに提供する

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【準備したもの】

・さんかくベンチマット ・カラフルマット

【環境構成】

・さんかくベンチマットを複数配置し興味を引き出す

・安心して子どもが遊べるように保育者も一緒に鏡に自分の顔を映す。

## 4.<活動の内容>

鏡の面白さを味わえるように保育士が鏡映る姿を見せるなどして一緒に鏡遊びを楽しんだ。子どもたちは鏡に向かって声をかけたり笑いかける姿が見られた。

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・三角ベンチマットを広げて使う。  
ハイハイして動き回ったり、  
座りこんで鏡をのぞき込む姿が  
見られる。

・保育者は、子どもと一緒にはい  
はいしたり鏡をのぞき込んだり  
して楽しさに共感する。

・鏡をみているうちに、保育者や  
お友達も映っていることに気が付く。  
目が合うととても嬉しそうに笑顔  
を見せていた。



## 5. 振り返り

・全面に鏡がついているので、クラスみんなで使っても十分にそれぞれの遊びの時間を保障することができた。

・保育者が一緒に遊びに参加することで安心して楽しむ事が出来ていた。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

カラーフィルムでカメラ制作（3～5歳児）

<テーマの設定理由>

①テーマの設定に活かした園の環境や強み

週に一度は制作の時間を設けているため、光活動を制作にも取り入れる。

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

以前の制作で教材としたカラーフィルムに興味をもち、カラーフィルムを通して見える「色のついた世界」を楽しむ子どもたちの姿があったため。

## 2. 活動スケジュール

令和7年5月～令和7年10月 3.4.5歳児 53名(年3回実施)

導入として、カラーフィルム3色を用意し、自由に手にとって遊ぶ。

幼児クラスでカメラ制作を行い、カラーフィルムのレンズ越しに見える世界を楽しむ。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ライトテーブル 1台
- ・クリアブロック 1箱
- ・色水ボトル 様々な色10本

保育室内にライトテーブルを設置する。子どもたちが興味をもったタイミングで、ライトテーブルの上にクリアブロックや色水ボトルを置いて遊びにつなげる。

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

まずは制作物の見本を子どもたちに見せながら、製作手順を子どもたちに伝える。

十分なスペースで製作ができるように、1テーブル2～3人ずつ座る。

・完成したカメラをのぞき込み、「緑に見える！おもしろい！」と嬉しそうに何度もカメラをのぞき込んでいた。

・「先生のお顔が青く見えるね」「椅子も青い！」と気付いたことを口に出しながら、カラーフィルム越しの世界を楽しんでいた。



## 5. 振り返り

・見ている景色がいつもと違う色に見えることに興味津々になる子どもたちの表情はとてもキラキラしていて印象的だった。

・更なる発展として、カラーフィルム（異なる色）を重ねてみることで色の違いを感じることができておもしろいと感じた。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

カラーリングつなぎ・うちゅうじんのたまごを通して光を感じる（0～1歳児）

<テーマの設定理由>

①テーマの設定に活かした園の環境や強み

昨年度も「光」をテーマし身近な光に触れてきたため、さらに遊びを広げたい。

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

幼児クラスの子どもがライトテーブルで光遊びをする姿に1歳児クラスの子どもたちが興味津々になっていた。

## 2. 活動スケジュール

令和7年6月～令和7年12月(年3回実施)

・0.1歳児クラス 16名

・子どもが興味をもったタイミングで光の活動に参加できるように、午前と午後2回に分けて光の遊びを子どもたちに提供する

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【準備したもの】

・ライトテーブル ・カラーリングつなぎ ・うちゅうじんのたまご

【環境構成】

・ライトテーブルの光を感じやすいよう、室内の電気を消し、暗くする。

・保育者は子どもが光を感じている様子をそばで見守り、思いや気付きを代弁しながら子どもと関わることでさらに興味が深まるようにする。

## 4.活動の内容

興味をもった子から活動に取り組めるよう、様子を見ながら必要に合わせてライトテーブルの上に玩具をおいていく。玩具の素材によって変わる光の通し方や見え方の違いに興味をもち、次々と玩具に手を伸ばしてじっと見つめる姿があった。

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)



・ライトテーブルの光に興味をもった子どもが次々と集まってきて、カラーリングやうちゅうじんのたまごに手を伸ばす姿がある。



・カラーリングを手に取り、光を感じながら遊ぶ。  
・隣で遊んでいる子の様子を見ながら、同じ玩具に手を伸ばす子もいる



保育者が玩具をライトテーブルの上で転がして見せると、その動きをじっと見つめて観察する。

## 5. 振り返り

・カラーリングは繋げることができるので、次回から繋げたものもあらかじめ用意し、さらに光の変化を楽しめるようにする。

・うちゅうじんのたまごも、カラーリングも光を通しやすい素材なので、玩具越しに見える光の世界を存分に味わうことができた。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光  
スケルトンひもとおしを通して光を味わう

<テーマの設定理由>

①テーマの設定に活かした園の環境や強み  
指先を使う活動を日頃取り入れているため、その一環として本活動を行おうと考えた。

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由  
スケルトンひもとおしは子どもたちに人気のある遊びで集中して行う姿があるため、ライトテーブルの上で光遊びとして取り入れてみようと考えた。

## 2. 活動スケジュール

令和7年9月～令和7年11月(年5回実施)

- ・2.3歳児クラス 30名
- ・子どもが興味をもったタイミングで光の活動に参加できるように、午前と午後2回に分けて光の遊びを子どもたちに提供する

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

令和7年4月～令和7年10月  
1歳児10名

【準備したもの】

- ・ライトテーブル ・スケルトンひもとおし

【環境構成】

- ・ライトテーブルの光を感じやすいよう、室内の電気を消し、暗くする。
- ・じっくりと活動に取り組めるように、5人ずつグループに分かれて活動をおこなう。

## 4.活動の内容

子ども達が興味を持てる様に玩具を配置し、興味を引き出した。すぐに興味を持ち遊び始めると様々な遊び方を自分たちで模索し、光の角度や当たり方によって変わる色の変化などを「なんだか色が違うね」など共感しながら楽しく遊んだ。

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)



- ・ライトテーブルの上に広がる玩具を見て、次々と子どもたちがよってくる。
- ・ひも通し以外にも、縦に積んでみたりと色々な遊び方を通して光を感じている。

## 5. 振り返り

・今回、異年齢で遊んだことで年上の子が年下の子と一緒に遊ぶ姿や「みてごらん」などと優しく声をかけてあげたりする姿があり、光の活動を通して多くのコミュニケーションが生まれていた。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光  
寒天・春雨遊びで様々な感覚を味わう

<テーマの設定理由>

- ①テーマの設定に活かした園の環境や強み  
様々な教材を通して日頃から感覚遊びを取り入れているため。
- ②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由  
絵の具の制作をした時に、色が混ざる様子に興味をもつ子が多かったため。

## 2. 活動スケジュール

令和7年8月～令和7年10月(年3回実施)  
・3歳児クラス 15名

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

### 【準備したもの】

- ・寒天 ・冷蔵庫(寒天を冷やすため) ・春雨 ・皿、コップ、スプーンなど

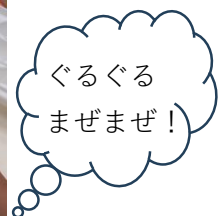
## 4.<活動の内容>

- ・色つきの寒天や春雨で感触遊びを行う。
- ・ままごとセット用意し、遊びが広がるようにする。

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・色鮮やかな春雨や寒天をお皿にいれたり、  
カップにいれたりして色や感触をとにかく楽しんで  
いる。

・スプーンやおぼんなどを用意すると料理  
のごっこ遊びが始まり、子ども同士のやり  
とりも深まっている。



## 5. 振り返り

- ・春雨や寒天の感触あそびを通し、自然な流れで光を感じることができた。今回は室内で行ったが、電気などの人口の光と外の太陽の光とでは見え方や感じ方も変わると思うので、次回は園庭で太陽の光を感じながら活動してみたいと感じた。
- ・色々な形や色の素材を使ってダイナミックに遊ぶ姿が見られた。次回は色のついた氷も用意し、更なる遊びの発展に繋げていく。